

シューズの靴底の厚さの改定について（TR5）

○要点は次の通りです。（日本陸上競技連盟 HP より抜粋）

● シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さが種目ごとに定義された。

走高跳は、これまで厚さ 13mm/かかと厚さ 19mm だったのが、靴底（ソール）全体 20mm（かかと含む）、

走幅跳が 13mm だったのが 20mm に変更（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）。

トラック種目は、**800m 未満は 20mm に変更、800m 以上は 25mm に変更。**

◎ 2020年11月30日までは、以下の通りに対応いたしますので、生徒へのご指導方
よろしく願いいたします。

- ・ 規定外シューズの使用は可。
- ・ 規定外シューズを使用する選手は、競技会ごとの方法により、自己申告、もしくは点検を行う。
- ・ 規定外シューズ使用選手についてはリザルトへ TR 5 を記載する。

※先生方はレースまでに選手に聞き取りを行い、規定外シューズの使用の有無を確認し、自己申告をするようにご指導お願いいたします。

※規定外シューズの確認を行わず大会を実施した場合は、その大会自体が非公認となります。各学校において事前に確認をお願いします。

※11月30日までに、TR 5シューズを履いて出された記録は、年度末の記録集計で公認されないということが発生する可能性があります。

靴底の厚さを確認する方法については、以下をご参照ください。

日本陸上競技連盟 HP <https://www.jaaf.or.jp/news/article/13959/>

WA 規則第 143 条（TR5：シューズ）のルール再改定について（通知）

4. WA が承認したシューズのリスト（2020年8月12日現在）

5. WA が示す靴底の測り方の一例（写真）

○簡易な測定方法の一例

1、基準を定めます (A)

写真では200mm



2、定規をシューズの

かかとに入れて測定します (B)

写真では172mm



3、(A) - (B) = 靴底の厚さ

200mm - 172mm

= 28mm

この靴はTR5になるので

招集場所（現地）で申請となります。

ちなみに

アシックスのスパイクシューズ「エフォート」の新品を測定すると20mmでした。

※多くのランニングシューズが規定外になりそうです。